

法政大学大学院
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	政治学研究科 政治学専攻 修士課程《一般》	2026年度 秋季
専門科目		

《解答又は解答例》

採点の際の考慮事項

この問題は論述式のため、模範解答は存在しない。採点に当たって、次のような要素を満足しているかどうかの評価が、重要な根拠となる。

- ①20世紀の民主主義において、経済的平等が民主主義の安定的な機能にどのように貢献していたかを明らかにする。
- ②安定した自由民主主義の下で、資本主義経済におけるどのような分配様式が、形成されてきたかを明らかにする。
- ③冷戦崩壊後の世界で、グローバル化がなぜ、どのように展開したかをおさえる。
- ④利益追求の全面展開、組織資本主義から株主資本主義への移行が、労使のパワーバランスにどのような影響を与え、それが自由民主主義のどのような前提条件を掘り崩していったかを明らかにする。
- ⑤資本、情報、労働力の自由な移動がグローバル化によって加速されるなかで、移動できない人々、特定の地域に定着している人々が経済的に没落し、政治に対する不満を高める中で、グローバル化で利益を得るエリート層に対する反発を強め、それがポピュリスト政党に対する支持につながったメカニズムを明らかにする。
- ⑥経済的格差の拡大が、民主政治にどのような悪影響を与えたかを論じる。

《出題の意図》

アメリカ、西欧、日本において、経済のグローバル化に対する反発が民主政治における新しい運動や政党の原因となっている現状がある。こうした民主政治の危機状況に関する知識や、危機を乗り越えるという問題意識を問う問題である。